



入学式に参加した九十九島大学の受講生の皆さん。第1回となった今回は5月30日～31日に九十九島の無人島体験や黒島での体験学習、ワークショップなどを行いました。



入学式であいさつを述べる校長の小西利行氏。

九十九島大学に関する問い合わせ
佐世保観光コンベンション協会
☎23-3369



九十九島大学
公式サイト

「九十九島大学」が開校

6月1日(月)、全国の若手クリエイターが佐世保に集い、九十九島の認知度向上に取り組み「九十九島大学」の入学式が九十九島ビジターセンターで行われました。

九十九島大学は、西海国立公園指定60周年を機に、本市が3年計画で取り組む九十九島PRの中心となる企画事業。受講生と地元さまざまな分野のエキスパートたちがチームを組み、著名な講師陣の話などを参考にしながら、知名度を上げていくためのさまざまなアイデアを生み出していきます。

受講生は全国から公募され、約140人の中から広告や映像制作分野などで活躍する若手クリエイター9人が選ばれました。本年度は1泊

2日の日程で5回の講座が予定されていますが、受講生は旅費や宿泊費など、すべて自費で参加します。

校長は企業広告などで数々の受賞歴を持つクリエイティブディレクターの小西利行氏。入学式では「アイデアだけで地域を動かすという新しい取り組みで、ハードルは高いが挑戦してほしい」とあいさつしました。

今後は1年をかけて九十九島をPRする99のコンテンツ(素材)を考え、2年目以降に、実際にPR活動に取り組んでいくこととしています。全国から集い、九十九島PRを本気で考えてくれる若きクリエイターたちへの応援をどうぞよろしく願います。



ブレイクダンスで世界を席巻 本市出身TAISUKEさん



朝長市長と笑顔で面談するTAISUKEさん



TAISUKEさん
公式サイト
<http://www.bboytaisuke.com/>

6月1日(月)、本市出身でブレイクダンサーとして世界を舞台に活躍しているTAISUKEさん(本名・野中泰輔さん)が市役所を訪れ、ストリートダンスのイベント「DANCE @ LIVE」で優勝したことなどを朝長市長に報告しました。

TAISUKEさんは日野小学校に通っていた8歳のころにブレイクダンスを始め、ダンス歴1年で日本最大の大会と言われている「ジャパンダンス ティライト」で特別賞を受賞し、翌年には準優勝を果たしました。その後、さまざまな日本大会や世界大会で好成績を収め、活躍の場を広げています。

DANCE @ LIVEは年間を通して予選を勝ち抜いた8人が本選へ

進み、トーナメント形式で年間チャンピオンを決定する国内のイベント。第10回大会の決勝戦は4月26日に両国技館(東京都)で行われ、TAISUKEさんは通算6回目の優勝という快挙を成し遂げました。

TAISUKEさんは朝長市長に近況などを報告した後、ブレイクダンスを披露。間近でキレのあるダンスを見た市長は「機敏さと腕力、すごいね」と一言。そのレベルの高さに驚きの表情でした。

今後はブレイクダンスのトップアスリートとしての能力を究めながら、地元佐世保の若者文化の向上などにも関わっていきたいとのこと。市民の皆さんの応援をよろしく願います。